

# 「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に 貢献する“Global Kawasaki”」の実現に向けて

このたびの東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り致します。

CSR報告書2011年版の発行にあたり、川崎重工グループのCSRについての私の思いに加え、

このたびの大震災で改めて強く認識致しました「当社グループが今後果たしていくべき役割」についても申し述べたいと思います。



川崎重工業株式会社 取締役社長

長谷川 聡

## 川崎重工グループのCSR

当社グループにおけるCSRは、「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」というグループミッションをより高い次元で実現するものであると位置付けており、①事業による価値創造 ②マネジメントの誠実さ ③働き続けたい職場づくり ④環境への取り組み ⑤社会貢献 の5つを活動のテーマとしております。

また、『Kawasaki事業ビジョン2020』および『中期経営計画(2010～2012年度)』の中でも、CSR重視ということを大きく掲げました。中期経営計画の初年度である昨年、現状に対するCSR自己評価を行い、その結果に基づいて今後行うべき活動のアクションプランを策定しました。今年度は「意思と実行の年」と位置付け、所掌部門ごとに活動を進めていきます。(7-10ページもあわせてご覧ください。)

私は常々、役職員に下記のことを要請しています。

- 環境変化に敏感であれ
- 革新／変革を目指せ
- 一度決めたら、執着心をもって愚直に邁進せよ

CSRの推進も、まさにこの精神で取り組むべきものと認識し、全社的に進めてまいります。

## 東日本大震災に対峙して

### —当社グループの果たしていくべき役割

東日本大震災では、当社グループも自らの社会的責任の重さを改めて認識しています。中でも特に、雇用の維持の面、ならびに復旧・復興およびエネルギー供給という事業に関連する二つの面では、今後一層の貢献が必要と感じています。

まずはじめに雇用についてです。東北の産業界が活力を取り戻し、機能を継続させていくためには、当地の企業がいち早く操業を再開し、そこで働く人たちが安心して働けるようになることが必要です。当社グループ自身は、主要な生産拠点が西日本に集中しており、事業の継続、雇用の問題が発生したわけではありません。しかし、お取引先の雇用維持については、我々が取引を継続し操業を応援することで間接的に貢献することができます。17年前の阪神淡路大震災で被災し、お客様やお取引先からの支援をいただいて雇用を守ってきた企業としても、責任を持って注力していきたいと思えます。

二つ目に、事業を通じて果たしていくべき点についてです。通信施設、交通機関、発電設備などのインフラは社会生活の基盤であり、より迅速な復旧・復興活動が必要です。もちろん、活動の主体は行政、自治体ですが、ものづくり企業も自社の持ち場で役割を果たしていかなければなりません。当社グループでは、まず、お客様の手元にあつて被災した当社製品の修理に着手しました。次に、自治体によるがれきの早期撤去・処理を支援するため、ホイールローダや破碎機等を無償提供し、さらに仮設の焼却設備を賃貸借方式で設置するなどの対応を実施・予定しております。エネルギー供給に関する事業については、今

般の大震災を契機とした電力逼迫に備えて自家発電設備や停電等対応の非常用電源を確保していただけるよう、ガスタービン、ガスエンジン発電設備等の増産を開始しています。

今後の中長期的な日本の電力エネルギー政策のあり方を踏まえると、従来以上に、分散型発電、再生可能エネルギー、高効率・省エネが重視されると考えており、これらに関連する製品の育成・強化や高効率製品の開発等を加速していきます。(12ページもあわせてご覧ください。)なお、分散型発電、再生可能エネルギーの普及・促進には、日本の次世代送電網のあり方や地方都市計画など、国家や自治体レベルで取り組むべき課題が多いため、当社グループは産官学とも積極的に連携していくこととしています。

<将来のエネルギーについて…当社グループの提言>

将来のエネルギーのあり方については、震災後の日本の問題に留まるだけでなく、世界規模での環境保全の観点から見ても重要な課題になると考えています。そのため当社グループは、『Kawasaki事業ビジョン2020』の中で、長期的なエネルギーのひとつとして、「CO<sub>2</sub>フリー水素社会」の実現を提案しており、水素製造、運搬、貯蔵、利用に至る水素チェーンにおいて、当社グループの保有技術の活用に取り組み、開発を確実に遂行していきます。

こうした取り組みを通じて、震災からの復旧・復興および当社グループのミッション「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」の実現へ向けて、全力を注ぐ所存です。